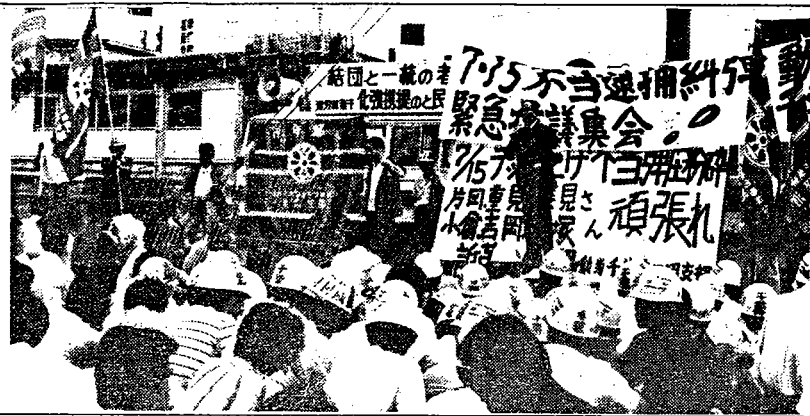


6名の仲間と連帯し、総決起! 即時釈放。不起訴獲得へ



緊急抗議集会に300名が結集。(7月15日、津田沼)

日刊 勤労千葉

81.7.17
No.795

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)公衆(電話)二二七二〇七

勤労「本部」反動分子と国家権力一体となった 「ブツ」上げ告訴による不当逮捕攻撃を徹底弾劾する!

われわれは、いま胸中にたぎりたつ怒りを抑えることができない。それは七月十五日、勤労「本部」八嶽委員長、転び屋・革マル分子嶋田誠、斉藤吉司、佐藤次男らによるデッチ上げタレコミ告訴をうけて勤労千葉破壊を唯一の目的とした、政治的弾圧としてかけてきた津田沼支部片岡支部長以下六名の役員・活動家への不当逮捕攻撃である。この告訴「強制家宅捜索」不当逮捕という、勤労「本部」警察権力一体となった反階級的暴挙こそは、「本部」革マル分子の反労働者集団への転落の決定的刻印である。「本部」革マル分子の正体見たり。「本部」革マル分子は、労働運動への明白な敵対者である。

全組合員のみなさん。
権力の弾圧を粉みじんじんにうち砕き、「本部」革マル分子を一扫し、片岡支部長以下六名の早期釈放、不起訴獲得まであらゆる闘いを千三百名組合員の団結力をもって展開しよう。

津田沼支部、反撃の組織体制を確立

津田沼支部は、十五日早朝のガス銃携帯の機動隊、私服刑事計七〇名による組合事務所強制捜索及び片岡支部長以下六名の不当逮捕に対し、職場ろり城の組合員二五名が抗議し、闘いぬいたのである。そして直ちに、六署に分散留置され完黙の闘いをする六名の仲間への弁護士接見・差し入れ激励行動を貫徹した。今回の不当逮捕攻撃によって執行部9名中5名が権力の手に乗られるという事態の中で、残留執行部は、直ちに山下幸支部長代行をはじめとする暫定執行部を確立し権力「本部」一体となった弾圧組織破壊攻撃を粉碎すべく組合員の総決起を訴え闘いの先頭にたつて不眠不休の活動を展開している。

津田沼支部暫定執行部体制

支部執行委員長	山下幸	39才	電運士
副執行委員長	伊藤詔一	39才	電運士
書記長	綾部光男	34才	電運士
執行委員	高石正博	36才	電運士
川口春雄	34才	電運士	
足立二三男	35才	電運士	
酒井富士太	31才	電運士	
川崎昌浩	22才	電運士	検修係
石井謙次	23才	電運士	電運士

全組合員のみなさん。このように津田沼支部は総武線の闘り拠点にふさわしく、権力「本部」一体となった未曾有の弾圧をうけながらも、獄中の片岡支部長以下六名の仲間の闘いに連帯し、揺ぎない組織体制と団結力をもって闘いぬいている。全支部は津田沼支部の闘いにつづけ。

18日より抗議の減産闘争と非協力闘争へ! 11月16回支部代で、闘争戦術決定!!

七月十六日、動力車会館において第十六回支部代表者会議を開催した。会議は十一支部全支部長が出席し、当面する闘いの取り組みを次の通り決定した。

抗議の減産闘争(A行動)を実施する。
④ 七月十八日、0時以降全組合員による非協力闘争を実施する。

- ① 不当逮捕者への激励行動を各警察署、地検、地裁で展開する。
- ② 津田沼支部を中心に差し入れその他を行う。
- ③ 七月十八日始業時以降全地上勤務者による
- ④ 抗議の減産闘争(A行動)を実施する。
- ⑤ 勾留期間延長または不当逮捕者が拡大した場合、再度戦術を検討する。
- ⑥ 全支部から津田沼支部へ檄布を集中する。
- ⑦ 広範な支援・連帯の獲得にむけての県内、全国への呼びかけを行なう。
- ⑧ 「本部」派・土屋一派に対する日常的オルグ活動の強化。